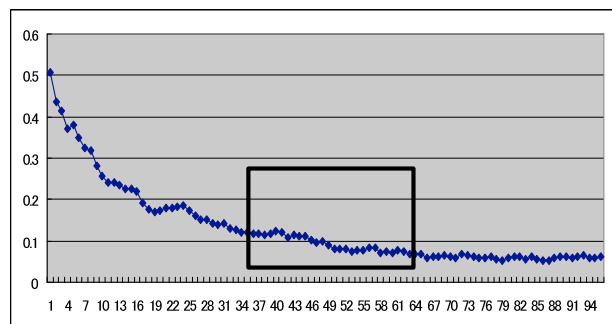
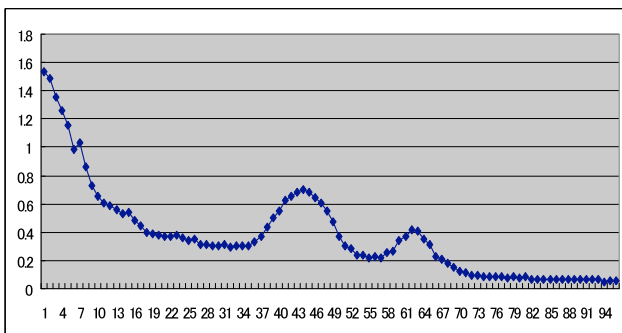


治療効果判定には、HPLC+ELISA法が優れている

研究分担者：愛知医科大学 腎臓・膠原病内科 今井裕一

- ・59歳女性、ネフローゼ症候群
- ・血清、尿中免疫電気泳動 IgG- λ 型
- ・VAD2回、MP2回、M-dex2回



	治療前	治療後
κ -FLC	15.1	11.2
λ -FLC	51.6	17.0
κ/λ	0.29	0.66

解 説

1. 原発性(AL)アミロイドーシスの治療前後における遊離軽鎖の推移を FLC測定、高速液体クロマトグラフィー法(HPLC+ELISA法)で検討した。
2. 治療後において κ/λ 比の正常化した。
3. 治療によりHPLC+ELISA法で遊離軽鎖が消失することを確認した。
4. 治療効果判定には、HPLC+ELISA法が優れている